

第 10 回 江戸川大学簿記コンクール【 問題 】

第 1 問 (20 点)

下記の取引について仕訳しなさい。ただし勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現		金	当 座 預 金	受 取 手 形	形	売	掛	金
未	収	金	消 耗 品	備	品	土		地
支	払	手 形	買 掛 金	未	払 金	当 座 借 越		
割	引	手 形	備品減価償却累計額	売	上	受 取 手 数 料		
雑		益	固 定 資 産 売 却 益	仕	入	支 払 手 数 料		
通	信	費	租 税 公 課	消 耗 品 費		整 地 費 用		
減	価	償 却 費	手 形 売 却 損	固 定 資 産 売 却 損		損		益

1. 出店用の土地 165 m²を 1 m²あたり 20,000 円で購入し、購入手数料 100,000 円を含む全額を後日支払うこととした。また、この土地の整地費用 50,000 円を現金で支払った。
2. 沖縄商店から商品 500,000 円を仕入れ、この代金のうち半額は同店振出し、石垣商店受取の為替手形を呈示されたので、その支払いを引き受け、残額は沖縄商店宛の約束手形を振り出して支払った。
3. 領収証の発行や約束手形の振出しに用いる収入印紙 10,000 円と郵便切手 5,500 円をともに宮古島郵便局で購入し、代金は現金で支払った。
4. 消耗品 8,000 円を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当店の当座預金の残高は 5,000 円であるが、借入限度額 100,000 円の当座借越契約を結んでいる。また、当店は、消耗品の処理について、購入時にいったん費用として計上し、決算時に未使用分を資産に振り替える方法を採用している。
5. 平成 24 年 9 月 1 日に取得した業務用パソコン（取得原価 150,000 円、残存価額ゼロ、耐用年数 5 年、減価償却費の計算は定額法、間接法で記帳）を平成 27 年 1 月 31 日に 20,000 円で売却し、売却代金は現金で受け取った。なお、当店の決算日は 12 月 31 日であり、減価償却費は月割計算によるものとする。

第5問 (22点)

次の【未処理事項】および【決算整理事項】について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、【答案用紙】第6問の精算表で記載されているものを使用すること。なお、会計期間は平成26年1月1日から平成26年12月31日までの1年間である。

【未処理事項】

- 取引銀行に取立てを依頼していた得意先静岡商店振出しの為替手形50,000円がすでに決済され、当店の当座預金口座に入金されていたが、その連絡が決算日に届いていなかった。
- 決算日の直前に売買目的有価証券のすべてを380,000円にて売却したが、その記帳がまだおこなわれていない。なお、売却代金は後日受け取ることになっている。

【決算整理事項】

- 現金過不足について、原因不明のため適切な処理を行う。
- 受取手形および売掛金の期末残高に対して、差額補充法により3%の貸倒れを見積もる。
- 期末商品の単価は1個当たり@700円、数量は500個であった。売上原価は「仕入」の行で計算すること。
- 次の要領にて有形固定資産の減価償却を行う。なお、建物の前期末の未償却残高は、600,000円である。

	減価償却方法	残存価額	耐用年数	前期末までの経過年数
建 物	定額法	取得原価の10%	30年	20年
備 品	定額法	ゼロ	6年	2年

- 引出金について、適切な処理を行う。
- 消耗品の棚卸を行ったところ、4,000円分が未使用であることが判明した。
- 支払保険料は、10月1日に向こう1年分をまとめて支払ったものである。未経過分について繰り延べる。
- 決算日までの地代90,000円が未払いになっている。
- 定期預金は、8月7日に1年満期(利率年0.3%)で預け入れたものである。すでに経過した146日分の利息を見越し計上する。なお、利息は1年を365日とする日割計算によること。

第6問 (22点)

第5問の期末整理事項等の仕訳にもとづいて、精算表を完成しなさい。